

働く意義と喜びとは

—一生勉強、一生青春—

東京都立南葛飾高校出張授業資料



2018年12月19日(水)

10:30~11:30

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 好きなことばはありますか。あったら教えてください。

A : あります。たくさんあります。

(1) 「ブルドッグ魂」

*一度始めたことは、最後までやり抜く。

(2) 「練習で泣いて、試合で笑え」

(3) 「一所懸命」

*一つの所で命を懸けるくらい熱心に取り組もう。

(4) 「勉強は、深く狭くに徹する」

(5) 「練習は、不可能を可能にする」

(6) 「独立自尊 (どくりつじそん)」

(7) 「離見の見 (りけんのけん)」

*舞台上で踊っている自分を、舞台から離れた客席で見る。



〈皆様の好きなことばは何ですか。下にご書いてください。〉

Q 2 : 林さんはどのような仕事や社会的活動をしてきましたか。今、していますか。

A : (1) 開倫塾塾長

(2) 株式会社開倫塾代表取締役社長

(3) 開倫塾日本語学校理事長

(4) 開倫ユネスコ協会会長、日本ユネスコ協会連盟評議員

(5) 学校法人有朋学園有朋高等学院理事長 (福島市)

(6) 社会福祉法人両崖福祉会特別養護老人ホーム清明苑監事 (足利市)

(7) 公益社団法人経済同友会幹事

(8) 公益社団法人栃木県経済同友会幹事

(9) 栃木県生産性本部理事、サービス産業生産性向上・活性化委員会委員長

(10) 足利商工会議所議員、足利 5S 学校役員、日本商工会議所専門委員

(11) スカイ学校支援ネットワーク理事 (墨田区教育委員会)

(12) 公益財団法人文字・活字文化推進機構評議員

(13) 栃木県社会教育委員 (栃木県教育委員会)

(14) 宇都宮大学大学院工学研究科客員教授

(15) マニー株式会社社外取締役

*精密機械製造、本社：宇都宮市、現地法人：ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャン

(16) CRT ラジオとちぎ放送「林明夫の歩きながら考える」毎週土曜日放送担当 (9:15 ~ 9:25)

(17) 月刊「私塾界」、「開倫塾ニュース」などに毎月コラム執筆

〈皆様が、将来、したい仕事や就きたい職業、行いたい社会的活動は何ですか。下にご書いてください。〉

Q 3 : 仕事とは何ですか。また、人は何のために働くと、林さんは考えますか。

A : (1) すべての「仕事」には、「お客様」がいます。その「お客様」はさまざまな問題を抱え、自分一人では解決できずに困っています。そこで登場するのが「仕事」です。「仕事」とは、「お客様」の「問題を解決」することで、「お客様のお役に立つこと」だと考えます。

(2) 同じような問題を抱えている「お客様」が「世の中」にはたくさんいます。そこで、「仕事」とは、「世の中」にたくさんいる「お客様」の「問題を解決」することで、「世の中のお役に立つこと」だと考えます。

* まとめていうと、「仕事」とは、「お客様」の「問題を解決」することで、「お客様のお役に立つこと」、「世の中のお役に立つこと」だと考えます。

* 「社会の課題を解決」するために行うのが、「社会的活動」です。

・ 「仕事」と「社会的活動」の境界がなくなりつつあるのが、現代社会です。

・ 「社会的企業」という考えが出てきました。



(3) 「仕事」は何のためにするのか。

① 「生活するだけの収入」を得るため。

② 「お客様」や「社会」の問題を解決し、「お客様」や「社会」の「お役に立つ」ため。

③ 「仕事」を通して、「自己実現」をするため、「よく生きる」ため。そう考えます。

＜皆様は、仕事は何のためにするとお考えですか。下に書いてください。＞

Q 4 : 高校での勉強は、将来、役に立つのですか。仕事や社会的活動、よく生きるために役立つのですか。

A : 役に立ちます。

(1) ① 高校で学ぶすべての教科の内容は、すべて役立ちます。

② 大学、短期大学、専門学校、専修学校、大学院などの「高等教育機関」での教育や研究は、高校で学ぶ内容がすべて身につけていることを前提にして、行われるからです。

③ 高校での全教科の学習内容は、上級学校ですべて役立ちます。

* 高校での勉強が不十分だとついていけないので、「学び直し」が求められます。

(2) 学校を卒業後に行う仕事や社会的活動は、中学校や高校での勉強の上に成り立っていますので、学校の勉強はすべて役立ちます。

(3) 人生を充実させ、よく生きる上でも、高校の勉強は役立ちます。全教科すべて役立ちます。

・ 生涯にわたって、全教科すべて役立ちます。

・ 死ぬまで、全教科すべて役立ちます。

(4) 「教科外の教育活動」も、学校を卒業後の仕事や社会的な活動、よく生きる上で、「すべて役立つ」と確信します。

＜皆様の好きな教科は何ですか。皆様の好きな教科外の活動は何ですか。下に書いてください。＞

Q 5 : これからの社会はどのような社会ですか。これからの社会で求められる能力は何ですか。

A : (1) 「知識が基盤になった社会 (知識基盤社会)」です。

* 「知識、情報、技術を相互作用的に用いる能力」

(2) 「グローバル社会」

* 「多様な集団で交流できる能力」

(3) 「課題山積 (さんせき) 社会」

* 「自律的に行動する能力」



〈皆様は、これからの社会はどんなものとお考えですか。〉

これからの社会で求められる能力は何だとお考えですか。下にご書いてください。〉

Q 6 : 高校時代に身につけておいたほうがよい能力は何ですか。

A : (1) 「読解力」

①文章や情報を、正確に、論理的に、分析的に、スピードをもって「読み解く能力」です。

②「読解力」の前提は、「語彙力 (ごいりょく)」、正確に身につけている「ことば」の数の多さです。

③「辞書」を毎日引くこと、「新聞」を毎日一面からていねいに読むこと、「読書」を毎日行うことの3つがおすすめです。

* 「学校図書館」には毎日行き、また、「区立図書館」には週に2～3回行き、辞書を引き、新聞、本をじっくり読むことをおすすめします。大学に進学するまでに、図書館の活用方法を身につけることが大切です。

(2) 高校在学中に、効果の上がる「勉強の仕方」を身につけること

①予習、復習の仕方

* 毎日2時間は、授業の予習と復習

②授業の受け方、参加の仕方

* ノートの取り方、整理・活用の仕方

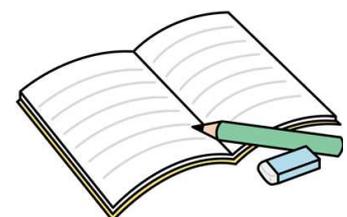
③知識の身につけ方

* 音読、書き取り、計算・問題練習の仕方

④試験勉強の方法

* 過去問の勉強方法

* 間違いノート、まとめノートの作り方



(3) 「5S(5 エス)」

- ①「整理 (seiri)」 いらぬものは捨てる
- ②「清掃 (seisou)」 きれいに掃除をする
- ③「整頓 (seiton)」 ものと同じ場所に置く
- ④「清潔 (seiketsu)」 ①～③を継続する
- ⑤「躰 (shitsuke)」 自分から進んで行く



(4) 別な意味の「躰」(しつけ)

- ①「美しい立ち居振る舞い(たちいふるまい)」
- ②「美しいことば遣い(づかい)」(敬語表現を含むことば遣い)
- ③元気なあいさつ

*高校生は、美しく生きよう。

〈皆様は、高校時代にどのような能力を身につけたいですか。下にご書いてください。〉

Q7 : 最後にひとことどうぞ。

A : (1) 家族、友人、学校、葛飾、東京、日本、アジアのよさを、少しずつでも探そう。自分のよさも少しずつ探そう。

(2) よいところを探して素直な心で受け入れ、少しずつでも自分の力、自分たちの力で伸ばそう。どんどん伸ばそう。

(3) 自分のキャリアは自分の力で磨き込もう。

(4) 自分の未来は自分で切り開こう。

(5) ①「朋(とも)有り、遠方より来(きた)る、また、楽(たの)しからずや」(論語)

②「会った人は、皆、友達」(京都一灯園、石川洋先生)

③「目には遠いが、心は近い」(インドのことわざ)

④「一生勉強、一生青春」(書家、相田みつを先生)

⑤「人生は長い。健康第一、心の健康・身体を大切に」



〈皆様は、どのような人生を送りたいですか。下にご書いてください。〉

ご質問、ご意見があれば、ご自由にご発言ください。

ご清聴を感謝いたします。

感謝